

かものういんだより

2020年3月号

発行：静岡県賀茂農林事務所

所在地：〒415-0016 静岡県下田市中531番地の1

電話番号：0558-24-2075 FAX番号：0558-24-2163

ホームページ：https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-710/



松崎町那賀地区に連合奨励賞

美しく品格のある邑に認定されている松崎町那賀地区が令和元年度美しく品格のある邑づくり連合奨励賞を受賞しました。

那賀地区では、松崎花畑実行委員会を中心に農閑期の水田を使った花畑を管理しており、クラウドファンディングを利用し協力金を集めたり、リアルかかしや足湯を設置するなどの工夫ある活動が評価されました。

この田んぼを利用した花畑は2月下旬から見頃を迎え、種類の違う花々が5月上旬まで楽しめます。



担当：農村整備課（0558-24-2080）

伊豆地域農業経営士連絡会の総会及び研修会が開催されました。

令和2年1月16日（木）に伊豆地域農業経営士連絡会の総会及び研修会が下田市の「下田バイクロシオ」で開催されました。

総会後の研修会では、県庁農業ビジネス課担い手育成班の班長から『農業の事業継承』をテーマに①事業継承の方法、②事業継承に向けた準備、計画、実行、③事業継承に対する支援策について講義がありました。

当事務所は、農業の担い手確保のため、事業継承の推進に取り組んでいきます。

担当：企画経営課（0558-24-2076）



【連載企画】
賀茂のグリーン
ツーリズム体験

「竹細工教室 （南伊豆町 一条竹の子村）」

今回紹介するのは、南伊豆町一条の「一条竹の子村」です。

ここでは、竹の子狩り、栗拾い、シイタケ狩り、竹細工教室等、季節によって様々な体験をすることができます。今回は竹細工に挑戦しました。

右の写真が完成品になります。一見複雑そうで「自分にも作れるの？」と思われる方、安心して下さい。手順さえしっかりと踏めば、小学4年生でも一人で作ることができるということです。筆者も工作は苦手な方ですが、教えていただいたとおりに作ると、1時間ほどで完成させることができました。



この竹細工の面白いところは、作る人によって全く形が異なることです。今回は3人で挑戦しましたが、細長い籠や丸い籠ができ、深さも人によって違っていました。

あなたの作る竹籠はどのような形になるでしょうか、気になる方はぜひ一条竹の子村へ。伊豆の素敵な自然を体験・満喫してみませんか。



最初見たときは、ただの竹の棒からこんな立派な籠ができるとは、想像できませんでした。



工事安全パトロールの実施

令和2年2月5日（水）に、三島労働基準監督署下田駐在事務所及び（一社）下田建設業協会とともに、本年度最後の工事安全パトロールを実施し、当事務所発注工事の安全施工を確認しました。



【工事箇所】
南伊豆町二條地内
【工事名】
令和元年度治山(予防)
平原工事
【工事概要】
谷止工1基
(コンクリート)

担当：治山課 (0558-24-2084)

令和元年度第3回農林事務所長会議

1月31日（金）に、当事務所主催で令和元年度第3回農林事務所長会議を開催しました。県内の各農林事務所長や関係職員とともに、管内の農林業の現場を視察しました。また、帰庁後に会議を行い、各事務所の話題や取組などが報告され、意見交換を行いました。



担当：総務課 (0558-24-2075)

食の都の授業

1月20日(月)、南伊豆町立南中小学校において5年生を対象に「食の都の授業」を開催しました。

講師は「ふじのくに食の都づくり仕事人」マエストロシェフの猪爪康之氏で、補助に静岡県専門調理師連合会の瑞松会料理人も加わり、学校関係者から提供された地場野菜を使った根菜の風呂吹き、貝だくさんの野菜味噌汁等の調理実習を通じて児童に食の魅力、料理の楽しさを伝えました。

児童達は料理人に助けられながら蛇腹胡瓜や玉子焼きを作り、さらにそれらを使い海苔巻き作り、型抜きした色とりどりの根菜を使い絵のような盛り付けに挑戦したりと貴重な体験ができ、「家で作ってみたい」という生徒もいました。



担当：地域振興課 (0558-24-2079)

森林整備の効果を

実感していただいています！

平成29年度に森の力再生事業により整備を行った南伊豆町立南上小学校裏の森林について、高橋校長にインタビューを行いました。高橋校長は、「明るく元気な森が帰ってきた。今後は自然環境を学ぶ場としても大切にしていきたい。」と話しており、整備の効果を実感していただけていました。



担当：森林整備課 (0558-24-2082)



NELL かも！
「ハナムギ」

ハナムギは、通常、麦茶や麦ご飯に使われる「六条オオムギ」を、穂が未熟で青いうちに収穫し、「観賞用」として出荷するものです。

生け花やフラワーアレンジメントに青味を入れる花材として安定した人気があります。



世界ジオパーク 紀行

「河津七滝 (かわづななだる)」

河津町を流れる河津川の約 1.5 km の間に存在する河津七滝は、約 2 万 5000 年前に伊豆東部火山群の一つ「登り尾南火山」からの溶岩流が谷に流れ込んでつくり出したもので、七滝のうち「えび滝」を除く 6 つの滝には、厚い溶岩が凝固、収縮してできる柱状節理が見られます。

初景滝にはかの文豪、川端康成の代表作『伊豆の踊子』のブロンズ像があり、滝祭りのメイン会場にもなっています。また、七滝沿いには河津七滝温泉の温泉街や蛙の博物館『カワズー』もありますので足を運んでみてはいかがでしょうか。

